

# イエスさまのように 認め合い、仕える子どもを目指して



巻頭言 校長 小原義信

## コロナ対策と思いやり

あつという間の夏休みでした。それでも、本校の児童たちの声からは、「早く学校に行きたかった」というものばかりでした(少なくとも私が声かけた児童については)。

学校生活の中では様々な感染予防対策を励行しています。「密にならないように」と児童のほうから声がかかることもあります。楽しみにしていた学校生活も、若干窮屈な感じがあるかもしれません。それによってお互いの関係がぎすぎすしたり、ストレスになったりしていかないようにと、教師たちも気を配っています。

感染拡大が半年余り過ぎた昨今、予防の観点のみでなく、人の心や人間関係に影響が及んでいることに関心が向けられています。報道や専門家のコメントからもそれが伝わってきます。文部科学省からも学校関係者に向けてコメントが出されました。共感できる点が多く含まれていますし、日頃から本校でも訴えてきたことです。既にごらんになっている方もおられると思いますが、いくつかポイントを抜粋します。

(全文は文部科学省のホームページをご覧ください)

「学校において、児童生徒等の学びを確保するために、保護者や地域の皆様に感染症対策の取組に御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

しかし、このような取組を徹底しても学校や家庭、社会において感染するリスクをゼロにすることはできません。誰もが感染する可能性があります。その上、新型コロナウイルス感染症には未だ解明されていない点があり、ワクチンも開発中であることから、この感染症に対する不安をお持ちの方が多いと思います。

……この感染症がもたらした社会の変化に対して、現時点での科学的な知見や見解に基づいて、正しく向き合うことが必要です。

第一に、感染者に対する差別や偏見、誹謗中傷等を許さないということです。

校訓 「だから、何事でも人々からしてほしいと望むことは、人々にもその通りにせよ。」



全校集会や全校礼拝は、画像を通して各教室から参加しています。



……自分が差別等を行わないことだけでなく、「感染した個人や学校への非難」「感染者と同じ職場の人や、医療従事者などへの疑いと悪口を言う」など身の周りに差別等につながる発言や行動があったときには、「そんなことはやめよう」と声をあげていただきたい。人々の優しさはウイルスとの闘いの強い武器になります。……

……新型コロナウイルスのみならず、感染症へ正しく対応するためには、最新の科学的な知見等を知ることが不可欠です。……保護者や地域の皆様におかれても科学的な知見等を日々の生活に生かしていただきたいと思います。」

令和2年8月25日 文部科学大臣 萩生田光一

もし自分も含め身近な人が感染したら、といった自分事としての想像が、思いやりを持った見方を養う時でもあります。

地震や津波、豪雨災害など、自然災害に備えて様々な取り組みがあるように、三密を避ける、手洗い、消毒、マスクといった感染予防に加え、もし自分や家族が感染したらといったことも想像し、家族の中で思いや行動を共有しておくことも大切です。もちろん誰も感染したくはありませんが、家族のだれかが感染したら、家に帰れなくなることもあるかもしれません。今から家族の役割を確認したり、子どもがお家の手伝いを率先してやってみたり、今できることから取り組んでみてはいかがでしょう。自然災害に備えるように、何ができるかを話し合っておくことも大切です。

「だから、あなたがたは、今しているように、互に認め合い、相互の徳を高めなさい。」

テサロニケ人への手紙一 5章 11節

ご家庭の上に神様からの祝福が豊かにありますようお祈り致します。

◇ 体操服、制服等の注文について

8月24日に注文書を配布しましたが、半袖のポロシャツ注文についてお問い合わせがありました。

改めて半袖ポロシャツの注文用紙を配布いたします。

お知らせしています通り、10月以降の注文から価格が更新され、値上がりとなることが各業者から通知されています。

提出期限は冬服夏服共に9月4日です。

◇ 漢字検定について

先日、申込書を配布いたしました。

締め切りは9月11日です。

検定日は10月23日(金)の放課後です。

◇ はげみの記録(通知表)

夏休み前に渡せなかった「はげみの記録」を9月4日にお渡しします。一学期の学習は、ほぼ終わりに近づいています。休校のために授業の日数が十分ではありませんでしたが、学習定着を図るために、今後当面行事が行えない分、時間を有効に用いていきたいと思えます。

◇ 放課後クラブ再開

お休みしていました放課後クラブは、9月1日(火)から再開いたします。

新規で利用する場合はお申し込みください。継続して利用する方はそのままご利用ください。

【 学校目標 】

<年間> ~イエス様のように~  
認め合い、仕える子どもを目指して

<2学期>  
自分で考えて行動する子どもになろう

<8・9月の目標>  
時間を守って行動する子ども

<8・9月の暗唱聖句>  
「何事にも時があり、天の下の出来事にはすべて定められた時がある。」

コヘレト3章1節

学校がスタートしましたが皆様いかがお過ごしでしょうか。

学校の手洗い場に聖書の言葉があります。その言葉が妙に心に響くタイミングがあります。

「疲れた者、重荷を負うものは、誰でもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう」

マタイ 11 の 28

(子ザルが祈っている?ように見える写真とセットで貼られている。)

疲れとは身体にだけ現れるものではなく、精神的にも起こりえます。私たちは人間ですので一日過ごせば相当の疲れは当たり前なわけですが、しかし、もしそうだとするなら疲れを感じることも、休む場所があるかなんかが大きな問題です。私にはこの「誰でも」という小さな響きが休息への導火線となっています。

チャプレン 植田祐幸